

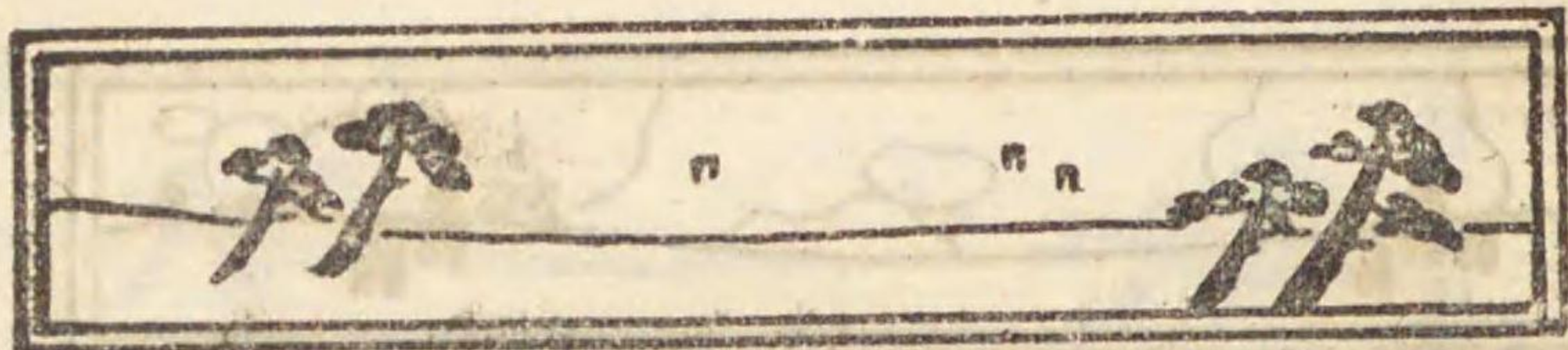
丸和、湯の瀧、紅葉館、旭館、金吉、讚岐屋、越後屋、九州屋、宿泊料一圓五十錢以上三圓、晝食八十錢以上一圓五十錢、自炊制あり。

□ 幌

別

岩見澤驛より七六哩一分、賃金(二等)三圓七十四錢
(三等)一圓八十四錢

【幌別温泉】(西二里半)【カル、ス温泉】(西北三里十五丁)乗馬乗合馬車の便あり賃金共に一圓五十錢登別温泉より一里二十丁同一圓、泉質は無色清澄無味無臭の單純泉で、彼の有名な塊地(おぼろ)地(おぼろ)のカル、ス泉に類似して居る筋、關節リューマチス、脊髄勞、婦人生殖器、腺病、神經諸病に効があり、内用すれば胃癌、胃加答兒、腸加答兒によく温泉は海拔八百餘尺の山間にありて西に乘馬、北に登別の翠巒を望む所にあり、登別温泉よりの途中に高さ二丈五尺の蘇志茂里の瀧あり、橋池は温泉より十餘丁周圍一里深さ四十尺、釣遊に最好、此温泉は屯田兵用地撰定の時に偶然發見せるものなり。旅館、壽館、千才館、洗心館、宿泊料一圓



五十錢以上三圓。自炊制あり。

【産物】 金銀型銅及硫黃。

【備考】 次の(輪西驛)の西北九里に洞爺湖さて周圍三里半湘中七島ありて風光明媚の湖あり又湖に近く慈覺大師の開基たる大白山善光寺ありて境内は西三十三ヶ所觀世音の石像を並列す。

【産物】 銑鐵。

□ 室

蘭

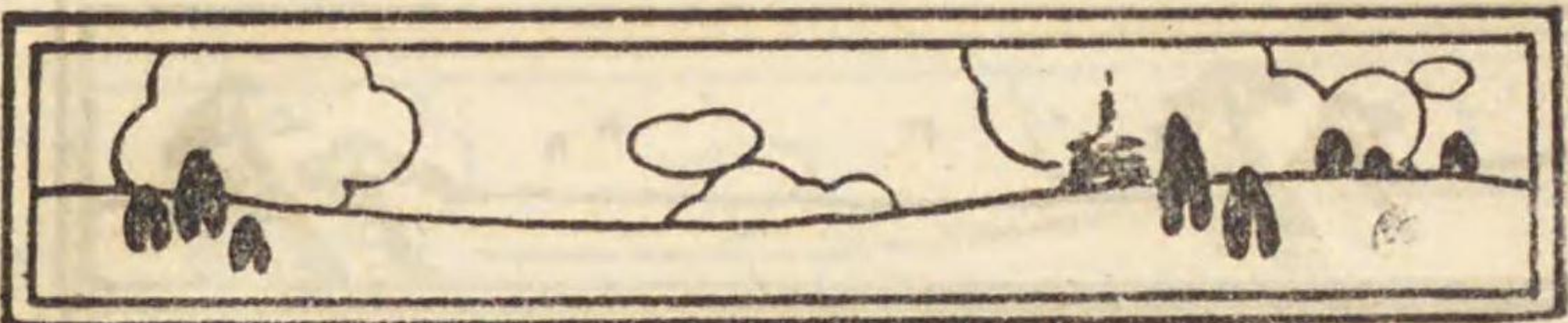
上野驛より七四八哩(外に海上)賃金(二等)二十三圓
六十一錢(三等)十一圓七十二錢
岩見澤驛より八六哩七分、賃金(二等)四圓十六錢
(三等)二圓〇五錢

町は靛繪半島の腰部、膽振海灣の東北岸に在りて東海岸の要港である、【日本製鋼所】(東十五丁)【東洋捕鯨會社】(北西一里)【室蘭支廳】(南六丁)【測量山】町の背後に在りて山海の眺望雄大である、山麓に八幡神社あり、旅館、福井館、創成館本支店、中村、熱田屋、井上、大正、山城館、宿泊料二圓以上七圓。

【産物】 石炭、材木、雲丹、魚介。

【室蘭線記事終】

室蘭、留萌線、留萌



留 萌 線

本線は函館本線の深川驛より分岐して西海岸の留萌に至る線で延長三一哩一分で深川留萌間に【筑紫】沼田【峠下】惠比島【勝山】大和田【の七驛ありて沼田驛の西一里に西本願寺農場がある外別に特記すべきものがない。

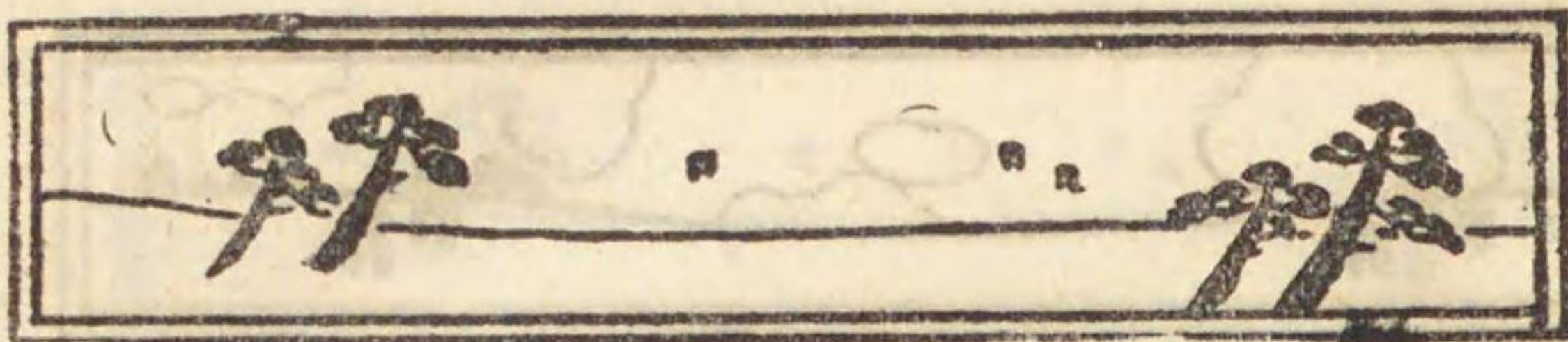
□ 留

上野驛より七三三哩四分(外に海上)賃金(二等)二
十三圓三十三錢(三等)十一圓五十八錢
深川驛より三一哩一分
賃金(二等)一圓六十三錢(三等)八十一錢

驛は天鹽國留萌郡に在りて町は留萌川の川口に位し西海岸に於ける良港である。
【嚴島神社】附近、【海水浴場】(西十六丁)【増毛町】(西南四丁)馬車賃六十錢、漁業の中心地、旅館、留萌ホテル、太刃川旅館、宿泊料二圓以上三圓、料理店、日勝亭、登喜和。

【産物】 鮭、鰯、鮪、肥料。

【留萌線記事終】



宗 谷 線

本線は函館本線旭川より分岐して中頓別に至る線で延長一〇六哩七分であつたが今は浅茅野迄で延長して一二八哩となり將來は北海岸なる宗谷灣稚内に達して樺太との連絡を保つべき鐵道である。

□ 永

旭川驛より五哩七分、賃金(二等)三十三錢
(三等)十六錢

地方一帯に水田の業盛なり【農事試験場上川支場】(東七丁)【松平農場】(南三十丁)

【産物】 米、薄荷、豆、木材。

□ 比

旭川驛より一〇哩六分、賃金(二等)六十九錢
(三等)二十九錢

宗谷線、永山、比布、名寄



【ヌタクカムシユベ山】(東十里) 北海道第一の高山、海拔七千百尺、山頂四時雪を頂く大雪山の稱あり【突山峭】(二十八丁) 石炭原石を出す。【松岡及村上木工場驛附近】

【産物】 木材、農産物。

□名

寄 旭川驛より四七哩二分、賃金(二等)二圓四十三錢(三等)一圓二十一錢。

驛附近に名寄木工會社、帝國製麻會社名寄工場、館脇、久保煉瓦工場、森薄板工場等あり【名寄神社】(五丁)【東照寺、清満寺】(八丁) 旅館、富士屋、伊藤旅館、水島旅館、名寄館、宿泊料二圓以上三圓五十錢、料理店、菊水、日比野、澤井、喜面亭、石黒。

【産物】 木材、酒、澱粉、製箱材、豆。

【備考】 本線には右の外特記すべき驛名所、名物なし。

【宗谷線記事終】

網走線

網走線とは網走本線、池田、網走間一二〇哩四分と湧別輕便線野付牛、下湧別間五〇哩六分の總稱で本線は釧路線池田驛より分岐して野付牛にて湧別輕便線を分岐して網走到りて止まつて居る。

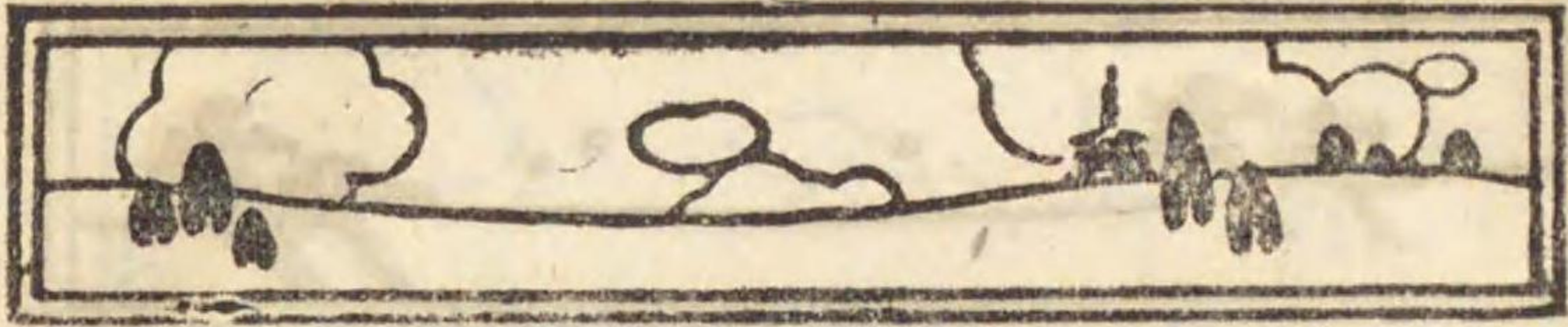
□野

付牛 池田驛より八七哩賃金(二等)四圓十六錢(三等)二圓〇五錢

湧別輕便線の分岐點である、町には一社十寺あるも見るべきものなく何れも驛より八丁乃至十五丁にして人力車賃一丁十五錢の割【三井物産木挽工場】(南七丁)【帝國製麻工場】(東五丁)【農事試験場】(南十二丁)【鈴木軸木工場】(北十六丁)【小川木工場】(北七丁) 旅館、市川館、黒部、梅原、信濃、外十三軒、宿泊料一圓以上七圓。料理店、梅の家、三島家、三河家、北見亭、外四十四軒。

網走線、野付牛





網走市街より網走港を望む

七七〇

【産物】 木材、挽材、薄荷油、軸木。

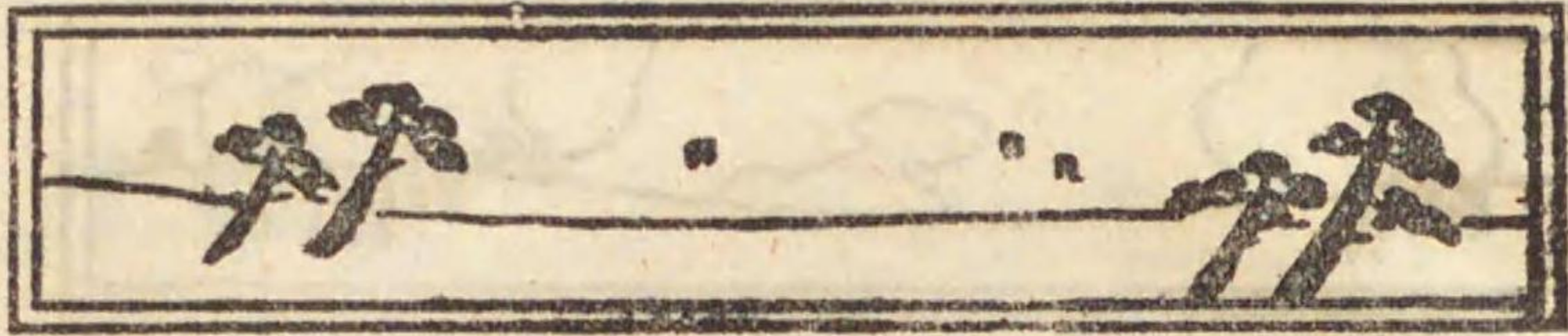
【備考】 驛の東南一里半に(志武士内温泉)ありて「ラザエーム」を含有せる鑛泉にして諸病に特効あり。

○ 網

池田驛より一・二〇哩四分
賃金(二等)五圓五十二錢
(三等)二圓六十九錢

驛は北見國網走郡に在りて町は網走川の吐口に位し北海岸の要津である、附近一帯の地は本邦に於ける寡雨の地として有名である、【三眺山】(西南一里十二丁)網走海岸、能取湖、網走湖の風光を望みて明媚の地、【松忠木工場】(西六丁)旅館、松井、伊藤、新谷、宿泊料一圓五十錢以上四圓。

【産物】 鮭、鱒、鮠、牡蠣。 【網走線記事終】



○ 湧別輕便線

□ 留邊

野付牛驛より一四哩二分、賃金(二等)七十九錢
(三等)三十九錢

【温根温泉】(西南二里十六丁)自働車、馬車の便あり自働車一人片道一圓三十錢馬車同一人一圓自働車一日に三回運轉す、泉質は無色透明で硫黄のやうな臭氣がある、温度百四十度、胃腸諸病、生殖器諸病、リユーマチス、關節炎、皮膚病、痔疾に特効あり。旅館、人與、大江本支店、國澤旅館、宿泊料六十錢以上二圓二十錢【ボンユ温泉】(東南十丁)人力車賃五十錢、馬車賃二十五錢、温度百度皮膚病、リユーマチスに効あり、周圍の風光佳。旅館、一軒あり、宿泊料一圓五十錢以上三圓。

【産物】 水松杖。

網走、湧別輕便線、留邊藥

七七一



【備考】同線の終端驛たる(下湧別)は野付牛驛より五〇哩六分ありて(猿間湖)驛より五〇哩八分あり東一里)風光雄大である。旅館、横山旅館、宿泊料一圓五十錢以上三圓。

【産物】鮭、鱒、蠣、帆立貝、薄荷。同線の風光雄大である。旅館、横山旅館、宿泊料一圓五十錢以上三圓。

大正十年六月十日印刷

大正十年六月十五日發行

大正鐵道旅行案内

定價貳圓五十錢

著作權
所有

編者

鐵道旅行案内編纂所

右代表者

井上露舟

發行者

岡崎廉三

印刷者

川崎佐吉

發行所

東京市日本橋區新和泉町四番地
電話浪花一一七六・振替東京二三九九六
東京市神田區錦町一丁目十九番地
電話神田二六一〇・振替東京六二九四番

白羊社書店
誠文堂書店

【所版活崎川 所刷印】

大正十年版發賣 □ □ 大正十年版發賣 □

温泉案内社編纂

池田永治畫伯裝幀
三六版紙數六百頁

上製清酒頗美本
寫真版澤山挿入

保養 遊覽 日本温泉案内

定價貳圓廿錢
送料金十八錢

完内なる案内記を持たずして温泉に遊ぶは、杖なくして道を行く盲人の如し、不便不利計り知るべからず、本書は全國二大温泉に付先年多額の費用を投じ、地に調査せるものにて、各温泉の特質、特効は勿論、氣候風景、地理歴史、交通及旅費、經費、旅館の模様等に至る迄、荷も湯治旅行者の爲め細大漏さず詳細を盡くせる療養と遊覽を兼ねたる理想的案内記なり。

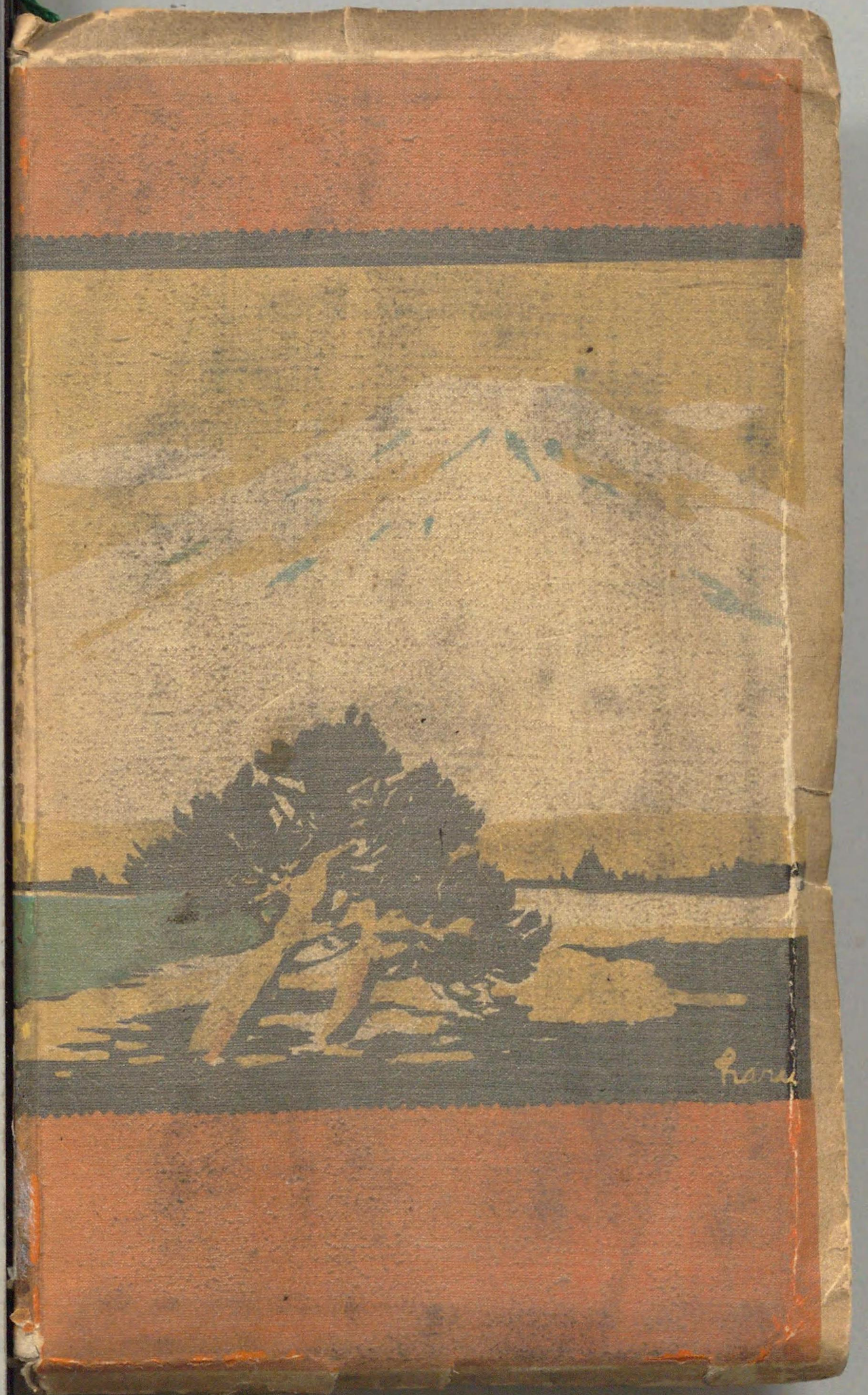
最近 郊外 一日の旅

定價壹圓廿錢
送料金六錢

黄塵萬丈の中に一週日を汗に暮らす人々には是非土曜から日曜を利用して海へ山へ思ふ存分涼氣を求めて快遊せられ、愉快に活動する人に一日も早く見て戴きたい。内容は懇切に郊外新名勝百廿餘箇所を紹介して引文流麗眞に郊外清遊の新名勝案内記である。

發行所 東京市本橋區新泉町 白羊社
振替東京二九三番 九六番





Forest